

# 巨匠のワザ、

# ここにあり

— 雅邦、観山、松園、清方 —

2020  
10/3 SAT  
→ 12/6 SUN

開館時間 = 9:30~17:30 (最終入館 17:00) 11月1日から9:30 ~ 17:00 (最終入館 16:30)

休館日 = 毎週月曜日 (但し11月23日は開館、11月24日は振替休館)

入館料 = 一般 1000円 中・高校生 600円 小学生 300円

※小・中学校が授業の一環として利用する場合は無料

※小・中学生は毎週土曜日無料

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付添1名は半額(要手帳提示)

※お着物でご来館の方は半額

公益財団法人

水野美術館

〒380-0928 長野市若里6-2-20

Tel 026-229-6333 Fax 026-229-6311

<https://www.mizuno-museum.jp>

下村観山《獅子図屏風》(右隻)部分 1918年

# 巨匠のワザ、 ここにあり

雅邦、観山、松園、清方

## みどころ 1

### 線描の美

抑揚のある太い輪郭線で描かれた、たくましい獅子の姿。対して、体全体は無数の細密な線描で覆われ、やわらかな毛並みを表現。

下村観山《獅子図屏風》1918年



## みどころ 2

### 美人画～細部から内面まで



上村松園《追風》部分 1935年頃

一切の無駄を省いた線描と洗練された色彩、女性の控えめな表情やしぐさによって、松園の理想とする清明で格調高い女性像が生み出された。

はじめ水野コレクションをご覧になる方も、何度もお覧いただいている方にも、日本画の魅力を一層味わっていただく機会となれば幸いです。

本展は、画家たちの得意とした、あるいは高く評価された技法や画題をテーマに、その見どころを紹介する展覧会です。狩野派の後継者で大観や春草の師であった橋本雅邦、「線の観山」の異名を持つ下村観山、その両者による巧みな線描。また、墨と色彩どちらの表現にも優れた川合玉堂の風景画や、衣装や髪型の細部にまでこだわり抜いた上村松園の美人画など。水野コレクションの選りすぐり、60余点を展示するとともに、作品それぞれに込められた画家の「技」から、彼らが巨匠とされる理由を探ります。

## みどころ 3

### 風景画～色彩と墨の融合



川合玉堂《溪村春雨》1942年



菱田春草《夕の森》1902年

墨のぼかしや濃淡による、雨の湿り気、藁屋根や岩の表現に、山桜や畑の鮮やかな色彩が溶け込んだ、玉堂特有の詩情あふれる山村風景。

## みどころ 4

### 墨の表現

にじみを活かした松の幹と、軽やかな円を連ねた樹皮のうろこ模様。手前の松葉は、濃い墨で針のように尖らせるなど、墨と筆による巧みな描き分けが楽しめる。



橋本雅邦  
《松鶴圖・梅鶴圖》(右隻)  
1902年頃

情報発信中!!

facebook

YouTube

フォロー、チャンネル登録をお願いします!

次回展

特別企画展  
彩りの樹木たち  
—春草・玉堂たちと巡る四季のすがた—  
会期:2021年1月2日(土)~3月21日(日)

交通のご案内

バスを利用の場合

JR長野駅下車、東口から長電バス「日赤・水野美術館行き」乗車約10分「水野美術館」下車

車を利用の場合

上信越自動車道「長野インター」から約15分 [無料駐車80台]

## ●大観の名品 3年ぶりの特別展示!●



横山大観《陶靖節》1919年頃

公益財団法人

水野美術館

〒380-0928 長野市若里6-2-20  
Tel 026-229-6333 Fax 026-229-6311  
https://www.mizuno-museum.jp

ZENKOJIDAIARTLINE  
善光寺平アートライン

入館料  
割引券

100円引

※会期中1枚につき1名様のみ有効  
※他の割引サービスとの併用不可